

今日の説教のポイント<エフェソの信徒への手紙 1 章 15~18 節>

手紙では、使われている単語の意味内容を正しく捉えることが大切です。ここでは、栄光、啓示、開く、希望、受け継ぐもの、です。

①心の目が開かれる(18) — 素敵な言葉！ さらにその真意は素敵！

もし普通の目だけでなく、心にも目があって開かれることがあるならなんて素敵なことでしょう、新しい世界と出会えるのですから！ここで「開く」と訳されている元のギリシア語は「光る、光で照らす」という意味の語ですから、「開かれる」とは「光で照らされて見えるようになる」ということです。何の光か？ 神様が照らして下さる光です！それがまさに 17 節の内容です！「どうか、私たちの主イエス・キリストの神、**栄光**の(源である)御父が、あなたがたに知恵と啓示との霊を与え、神を深く知ることができるように」(栄光：まさに光、輝きと関係！)。なにか、私たちが自分の力で突然見えるようになるというではありません。神様の光で照らされる中を生きるようになる時に、今まで見えなかったものが見えるようになるのです！それが信仰によって与えられる(見えるようになる)新しい世界です！

②信仰によって与えられる「希望」や「受け継ぐもの」とは何か？

では、その「新しく見えるようになる世界」とは、どのようなものなのでしょうか？ここでは、「**神の招きによって与えられる希望**」「**聖なる者たちが受け継ぐもの**」、と表現されています。私たちはこれらの内容を、「将来与えられる天国やそこで与えられる平安だろうか」等々色々考えます。しかしここでパウロが考えていることははっきりしています。「あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい」(5:8)「御父は、私たちを闇の中から救い出して、その愛する御子の支配下に置いて下さいました。私たちは、この御子によって贖い、すなわち罪の許しを得ているのです」(コロサイ 1:13-14)。イエス・キリストの福音を通して神様の民に入れられたこと、神様の光に照らされる中を歩めばいいという人生が示されたこと、それ自体の恵みの大きさを考えているのです！私たちがその道を歩み行けるために与えられている「**神の力**」と「**教会**」については 19 節以下で語られています。楽しみにして下さい！